

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
【発行日】 令和 6 年 12 月 24 日 (2024.12.24)

【国際公開番号】 WO2023/181401
【出願番号】 特願 2024-509701 (P2024-509701)

【国際特許分類】

B 6 0 C 7/00 (2006.01)

B 6 0 C 7/18 (2006.01)

B 6 0 C 7/20 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 7/00 H

B 6 0 C 7/18

B 6 0 C 7/20

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 7 月 25 日 (2022.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両に結合されるホイールの外周側から、路面に接地するトレッドの内周側に向かって放射状に設けられた、弾性を有する複数のスポークと、

前記ホイールと前記トレッドの間において前記複数のスポークと連結して設けられた、弾性を有する中間リングと、を備え、

前記スポークは、前記ホイール側の端部と前記トレッド側の端部との間に、これら両端部を接続する方向に対して折れ曲がる屈曲部を有し、

前記中間リングは、前記屈曲部と連結され、

前記屈曲部の劣角は、前記ホイール側の端部から前記トレッド側の端部に向かって小さくなる角度に形成されているエアレスタイヤ。

【請求項 2】

前記スポークは、タイヤの回転軸方向に見た場合に、ジグザグ状に形成されている請求項 1 に記載のエアレスタイヤ。

【請求項 3】

同じ中間リングと連結されているスポークの屈曲部は、タイヤの円周方向に対して同じ方向に折れ曲がるように形成されている請求項 1 又は 2 に記載のエアレスタイヤ。

【請求項 4】

同じ中間リングと連結されている、タイヤの円周方向に隣接する 2 つのスポークの屈曲部は、タイヤの円周方向に対して逆方向に折れ曲がるように形成されている請求項 1 又は 2 に記載のエアレスタイヤ。

【請求項 5】

(削除)

【請求項 6】

前記スポークの、前記ホイール側の端部と前記トレッド側の端部とを接続する方向は、タイヤの半径方向に対して 0 を超える所定角度だけタイヤの円周方向に傾斜して設けられている請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のエアレスタイヤ。

【請求項 7】

10

20

30

40

50

前記スポークの曲げ剛性は、前記中間リングの曲げ剛性より大きい値に設定されている請求項 1 ～ 4 , 6 のいずれか一項に記載のエアレスタイヤ。

【請求項 8】

前記中間リングは、偶数設けられている請求項 1 ～ 4 , 6 ～ 7 のいずれか一項に記載のエアレスタイヤ。

10

20

30

40

50